

穂高商業高等学校

穂商フェア～地域人教育HOTAKAを軸とした探究型イベント～

講座：代表生徒

デザイン・動画制作	：白木 碧	観光	：倉田 海渡	スポーツビジネス	：福井 温輝
地域交流	：黒岩 遥馬	交通	：米盛 春	衣食住	：辻本 麻耶
穂商バージョンアップ	：小山 夏実	ICT活用	：岡村 聡真	子育て支援	：藤松 心結
地域福祉	：中島 優希	特産品	：小林 夕夏		

1 はじめに

穂高商業高校では地域に根差した商業教育を目指し、昨年度まで22回実施してきた「穂商マーケット」では、お客様の「感動」と「喜び」を共有する実践的・本格的な販売実習を目指して取り組んできた。

本年度より、名称を「穂商フェア」に改称し、これまでの販売実習に加え、3年次の課題研究で取り組んでいる「地域人教育HOTAKA」の活動を軸とした学習イベントへと深化させた。地域人教育HOTAKAでは、地域と連携した探究的な学びを行っており、穂商フェアでは、活動の発表、体験型のワークショップ、ポスターセッション、子ども向けイベント、その他調査や報告などを行うこととした。

2 日時 令和6年10月26日（土）10：30～14：00

3 内容

- (1) 販売実習（池工・南農・穂商・丸山菓子舗 連携開発商品 米粉どらやき「いなほ」 など）
- (2) キッズビジネスタウンほたか（小学校1～6年生対象）
- (3) ワクワクランド（乳幼児～小学校低学年対象）
- (4) アンケート調査、インタビュー調査
- (5) ワークショップ、イベント企画
- (6) ポスターセッション、プレゼンテーション

4 来場者数 582名

5 地域人教育HOTAKAとは

令和5年度から導入された、地域の企業や市役所、社会福祉協議会、小学校、幼稚園・保育園など、地域の方々と連携しながら、「地域の問題を発見し、課題を設定して、解決策を考え、実践し、検証する」活動である。

取り組みテーマと概要

- | | |
|-------------|---|
| ・穂商バージョンアップ | ：学校間連携による商品開発
芸大と連携したりノベーション等の視点を生かした
アートミュージアムフェアの実施 |
| ・デザイン、ICT活用 | ：観光に関する動画制作、掲示物デザイン |
| ・スポーツビジネス | ：地域住民と交流するスポーツイベントの企画 |
| ・観光 | ：穂高地域の観光資源の体験と広報 |
| ・交通 | ：JRと連携したイベント企画 |
| ・衣食住 | ：朝食や衣服に関する考察 |
| ・特産品 | ：地域産品を活用した商品開発 |
| ・地域交流 | ：公民館講座の実施とポスター制作 |
| ・地域福祉 | ：社会福祉協議会と連携した福祉体験、支援活動、
キッズビジネスタウンほたか などのイベント企画 |

・子育て支援 : 社会福祉協議会や学校、市役所と連携した保育や育児に関する調査と支援、イベント企画

連携先 (敬称略)

・安曇野市役所 ・安曇野市社会福祉協議会 ・安曇野市観光協会
 ・大王わさび農場 ・穂高南小学校 ・池田工業高校
 ・南安曇農業高校 ・東京藝術大学 ・丸山菓子舗
 ・合同会社アズミックトラックス ・穂高公民館
 ・outdoor guides kiboco ・J R東日本 (豊科駅) など

6 穂商フェア実施内容

下記の表のとおり、商品を仕入れて販売してきた穂商マーケットから内容を転換し、これまでのノウハウを活かしながら各講座の探究内容を実践できるブースを計画して実施した。開発商品を販売したり、来場者に研究内容を発表したり、展示した内容についてアンケートを実施したりなどを行った。

令和6年度 第1回穂商フェア実施 内容一覧

講座テーマ	区分	場所	ブース名	内容
デザイン・動画制作	イベント	第一体育館	射的屋さん	射的 (景品→大当たり: おもちゃ、外しても参加賞あり)
ICT活用	ワークショップ	簿記室・校内	「マルチアルキ」アプリを利用したAR模擬体験 (スタンプラリー)	スタンプラリー、達成者にはプレゼントあり
スポーツビジネス	イベント	第二体育館	ミニ運動会 (一般参加可)	イントロ当てクイズ、スリッパ飛ばし など 生徒によるステージ発表
	商品販売	音楽室前通路	健康食堂	地元の素材を使った豚汁、トルティーヤ、スムージー
観光	展示発表 アンケート	第一体育館	わさび班	パネル展示、わさびの新商品に関するアンケート調査
	展示発表		湧き水班	パネル展示、クイズ (景品あり)、ゆるキャラ来場 (あづみーず)
交通	ワークショップ	第一体育館	ペーパークラフト、ぬり絵、フォトスポット	鉄道に関する展示、フォトスポット ぬり絵やペーパークラフトなどの体験
衣食住	展示発表	第一体育館	衣チーム	リメイク作品の展示
衣食住	展示発表	第一体育館	食チーム	朝食に関するアンケート結果の展示と発表
特産品	商品販売	商品実験室	安曇野産のカシスジャムを使った飲料とスイーツの調理・販売	カシスソーダジュース・クロッフル・ヨウルトルトゥウの販売
地域交流	イベント	第二体育館	公民館活動への参加報告	大道芸 (ディアポロ) の発表と体験 (無料) 公民館など地域からの依頼で作成したポスターの展示
地域福祉	商品販売	学習室	喫茶店	コーヒー、ジュース、紅茶、コーラ、オレンジ等の飲み物の販売
子育て支援	イベント	格技室	ワクワクランド	本の読み聞かせ・巨大迷路・松がれ材の積み木を小さい子向けに用意
穂商バージョンアップ	商品販売	音楽室	オレラのかふえ	穂高商業、池田工業、南安曇農業、丸山菓子舗 共同開発商品 米粉どらやき「いなほ」初お披露目 & 販売 ※定番商品「穂商シュー」も販売
	展示発表	中庭、校内	穂商リノコラージュ.ミュージアム	あるものを生かして魅力的な空間に
2 学年	展示発表	第一体育館 会議室	ビジネス探究について	ビジネス探究の学びについての展示、ポスターセッション
生徒会	展示発表	第一体育館	学校説明会 & 相談会	中学生を対象とした、生徒による学校説明と相談
キッズビジネスタウン はたか (事前申込制)	商品販売	第一体育館	[一般向け販売あり] キッズデパート/秋の味覚フェア	大福、おこわ (山菜、豆)、おにぎり、お寿司、パン、ドーナツなどの販売
	イベント	第一体育館	福祉体験 (車イス、点字)	車いすの体験、アイマスクを使った歩行体験、点字の体験
	イベント	3-1、3-2、3-3	製造体験コーナー	スライム、バスボム、マグネット作成
	イベント	3PC室	楽しいパソコン教室	ゲームプログラミングの体験

7 当日配布パンフレットとポスター

ICTを活用してデザインを行ったり、地域と連携してイベントポスターを制作した講座もあり、これらの活動を活かして穂商フェアで配布するパンフレットとポスターの制作も行った。

イベント

- ▶ 大道芸発表と体験
- ▶ ミニ運動会
- ▶ ワクワクランド
- ▶ 射的屋さん
- ▶ キッズビジネススタウンほたか (キッズ事前予約制)

ワークショップ

- ▶ ペーパークラフト、塗り絵、フォトフレーム
- ▶ 福祉体験 (車イス、点字等)
- ▶ 「マチアルキ」アプリを利用したAR模擬体験 (スタンプラリー)
- ▶ 製造体験コーナー (キッズ事前予約制)
- ▶ 楽しいパソコン教室 (キッズ事前予約制)

企画・展示

- ▶ ポスターセッション
- ▶ リメイク作品展示 (Tシャツ)
- ▶ アンケート
- ▶ クイズ (景品あり)
- ▶ ゆるキャラ来場
- ▶ 穂商リノコラーージュミュージアム

ご協力団体・企業様

安曇野市役所、安曇野市社会福祉協議会、安曇野市観光協会、大王わさび農場、穂高南小学校、池田工業高校、南安曇農業高校、東京藝術大学、丸山菓子舗、合同会社アズミックトラックス、穂高公民館、outdoor guides kiboco、JR東日本(豊科駅)、茶屋こころえ、安曇野カシスみいま工房 等

商品販売

▶ **オレラのかふえ**

南安曇農業 池田工業 穂高商業 丸山菓子舗 共同開発商品
米粉どらやき「いなほ」
初お披露目!

▶ **喫茶店**

飲み物各種 (コーヒー、紅茶、コーラ、オレンジジュース等)

▶ **秋の味覚フェア** (キッズデパート内)

大福、おこわ (山菜・豆)、おにぎり、お寿司、パン、ドーナツ等

▶ **カシススイーツ**

カシスソーダジュース、クロッフル、ヨウルトルトゥ

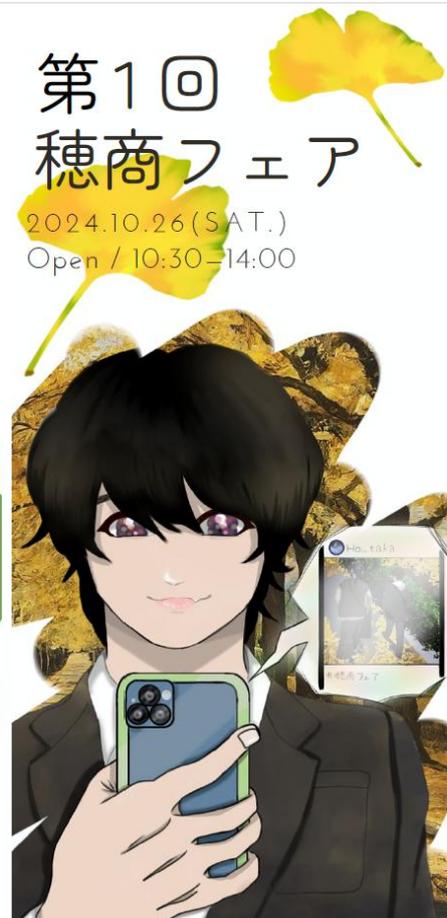
▶ **健康食堂**

地元の食材を使った豚汁、トルティヤ、スムージー

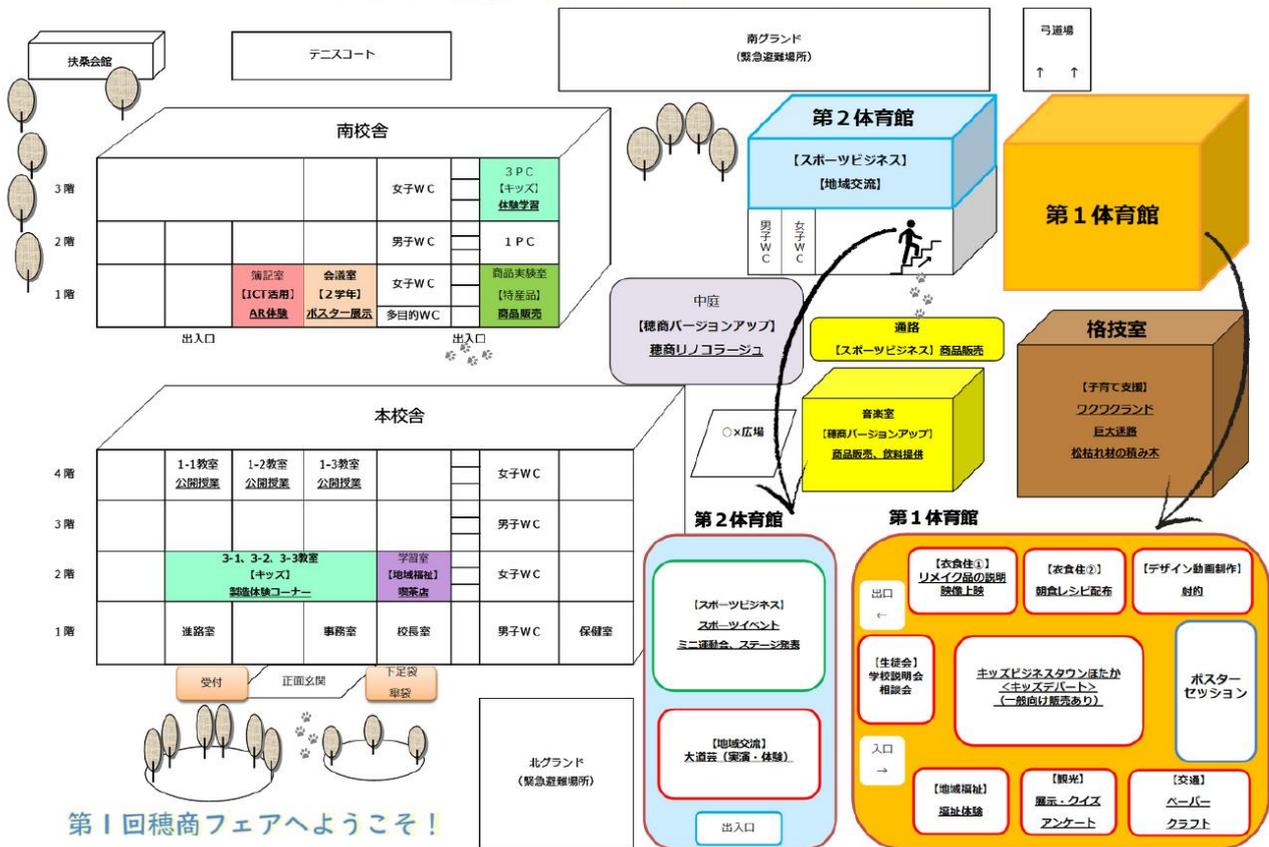
生徒による学校説明会 & 相談会 (第1体育館)

第1回 穂商フェア

2024.10.26 (SAT.)
Open / 10:30-14:00



令和6年度 第1回穂商フェア会場図



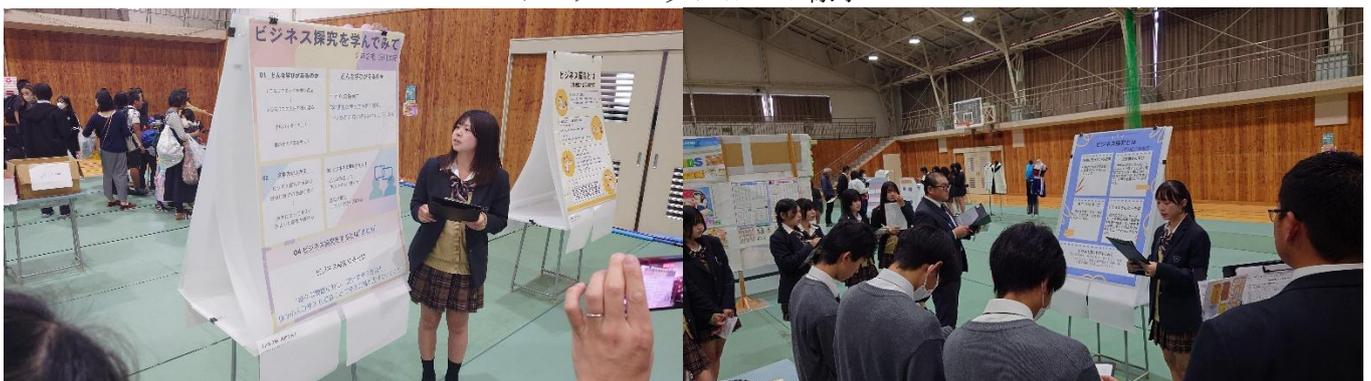


8 ポスターセッション

新たな取り組みとして、研究内容を中間報告するポスターセッションも行った。発表時間のコアタイムを設け、在校生や外部の方に発表を行い、質問や意見をいただくなどを目的とした。地域人教育HOTAKAを実践している3年生だけでなく、ビジネス探究を実施している2年生も全員が学んできた内容についてポスターを制作し、代表者が発表を行った。

1年目ということもあり、来場者は穂商マーケットのイメージが強く残っており、販売が目的で来校をしていることや、在校生は公開授業や他のブースの運営でポスターを十分に見ることができず、賑わうポスターセッションにならなかったことが課題である。

ポスターセッションの様子



統合する3校で穂高をバージョンアップ!

廣野・岡田
小沢・江端

〈研究背景〉

数年後に穂商、南農、池工が統合されることについてフィールドワークを行いました。その結果、マイナスな意見が多く挙げられました。

地域の人々の意見として、具体的には穂高から高校生が減って寂しいというものや、母校がなくなることに対して悲しいというものが多かったです。

また、穂高商業高校の三年生にアンケートを取りました。

アンケート結果

統合することに対して	人数
賛成	8人
反対	5人
不安	9人
母校がなくなり寂しい	10人
とくになし	9人

〈目的〉

フィールドワークで挙げられたマイナスな意見を変えるためにこの三校の特色を生かして共同開発を行い、統合されることが地域の人たちにとって良いイメージにしたいと考えました。

〈課題解決に向けて行ったこと〉

穂商バージョンアップ講座の商品開発グループが丸山菓子舗様と連携して、安曇野のお米を使って米粉どら焼きを製作しました。そのどら焼きに南農さんの鶏卵を使用し、池工さんが考えてくださった焼印のデザインを押しました。

〈課題と仮説〉

南農や池工と交流してそれぞれの学校の特色を理解してSNSを利用して発信し、3校で共同開発商品を考えることを課題としました。

これらの課題を達成することで、地域の人々の統合に対するマイナスなイメージを少しでも減らすことができるのではないかと仮説を立てました。

また、商品を売るにあたって、カフェスペースの設置を考えました。その際に池工から椅子や机を提供していただくことを検討しています。



焼印のデザイン



池工さんが製作した椅子



南農さんの新鮮な鶏卵



完成したどら焼き

9 今後の課題

来場者にアンケートを実施したところ、「第1回穂商フェアは、これまでと異なる企画であり、年配から子どもまで楽しめるものや、学習の成果が見られたりと、充実したフェアでした。生徒に親切、ていねいに説明していただく場面もあり、楽しめました。ありがとうございました。」「以前の穂商マーケットのイメージがあったので今回の穂商フェアは静かな印象を受けました。受付で取り組み、ブースの一览表の大きい物があったり学習イベントという事をもっとアピールするのが良いと思いました。子供が通っているので学習した成果を発表する場というのわかりますが、そうでない方が来場した際にはわかりにくいのかな、とかんじました。販売は活気がありましたが、展示はただ掲示してあるだけでしたので生徒から説明があったりするともう少し見ようかなという気になりました。」

「もう少し販売するブースをしてほしい。」などのご意見をいただいた。

学習イベントであることの広報や、生徒たちによる説明を充実させることが必要であることがわかった。また、これまでの販売を求めている来場者が多いこともわかり、活気のあるイベントにすること、学習イベントとして実施していくことを両立していくことの難しさも感じた。

南安曇農業高校と池田工業高校、丸山菓子舗と連携して、高校再編をテーマに制作した米粉どら焼き「いなほ」は大盛況であり、非常に高い評価をいただくことができた。

米粉どら焼き「いなほ」の販売



地域の課題解決をテーマに取り組んできた地域人教育HOTAKAを中心とした第1回穂商フェアは多くの課題が残る結果とはなったが、これまでとは異なり地域と連携した探究的なイベントとすることができた。今年の「課題」をもとに第2回以降はより良いイベントにしてほしい。